

泌尿紀要
Acta Urol. Jpn.

Vol. 32, No. 10 ACTA UROLOGICA JAPONICA October 1986

泌尿器科紀要

第32巻 第10号 1986年10月

ヒト尿路性器悪性腫瘍のヌードマウスへの異種移植	
一移植成績と移植腫瘍の性状一	本多 靖明…1411
ヌードマウス可移植ヒト腎細胞癌に対する各種抗癌剤の抗腫瘍効果	本多 靖明…1423
Neothramycin による膀胱癌の治療(英文)	津ヶ谷正行・ほか…1443
UFT 経口投与による血中および膀胱腫瘍組織内 5-FU 濃度の	
検討	高山 秀則・ほか…1449
前立腺穿刺吸引細胞診の有用性の検討	藤本 佳則・ほか…1455
トロンビン注入による前立腺手術の止血	鈴木 良二・ほか…1461
前立腺癌の staging pelvic lymphadenectomy	布施 秀樹・ほか…1465
エノキサシンの前立腺組織移行について	安本 亮二・ほか…1471
LH-RH analogue ICI 118630 連日皮下投与による	
前立腺癌内分泌療法	宇佐美道之・ほか…1475
兵庫医科大学泌尿器科学教室における1984年の臨床統計	生駒 文彦・ほか…1489
副腎嚢腫の2例	寺地 敏郎・ほか…1497
巨大水腎を呈した腎腺維肉腫の1例	金親 史尚・ほか…1505
原発性腎盂腺癌	高橋 義人・ほか…1509
尿管結石と膀胱腫瘍を合併した尿管瘤の1例	中島 登・ほか…1519
脳転移をした膀胱腫瘍の1例	浜口 毅樹・ほか…1524
前立腺平滑筋肉腫の1例	伊藤 康久・ほか…1527
睪丸類表皮嚢胞の1例	関井謙一郎・ほか…1533
46XX 男性の1例(英文)	奥山 明彦・ほか…1539
真菌性尿路感染症—第1報—	和志田裕人・ほか…1543
複雑性尿路感染症に対する Cefoxitin と Amikacin の	
併用療法の臨床的評価	坂下 茂夫・ほか…1547
淋菌感染症の疫学的治療学的研究—T-2588 による検討—	熊本 悦明・ほか…1551

Editor: Prof. Osamu YOSHIDA, M. D.
Department of Urology, Faculty of Medicine,
Kyoto University, Kyoto Japan 606
京都大学医学部泌尿器科学教室

購 読 要 項 (1986年1月改訂)

1. 発行は毎月、年12回とし、年間購読者を会員とする。
2. 会員は年間予約購読料8,000円(送料とも)を前納する。払込みは振替に限る。口座番号 京都5-4772番 泌尿器科紀要編集部宛。
3. 入会は氏名、住所を記入のうえ編集部宛、はがきにて申し込めば所定の用紙を送付します。

投 稿 規 定 (1986年1月改訂)

1. 投稿：連名者を含めて会員に限る。
 2. 原稿：泌尿器科学領域の全般にわたり、総説、原著、症例報告、そのほかで和文または英文とする。
 - (1) 普通論文の長さは、原則として、刷上り本文5頁(400字×20枚程度)、図(Fig.)10枚、表(Table)10枚までとする。
 - (2) 和文原稿はB5版400字詰原稿用紙横書き、楷書(ワープロ可)、当用漢字、現代かなづかい、平がなとし、清書する。年号は西暦とする。文中欧語の固有名詞は大文字で、普通名詞は小文字で始め、タイプ(手書き不可)する。
 - (4) 原稿の表紙に標題、所属機関名、主任名、著者名の順に和文で併記する。下段に筆頭著者名と、2語からなる running title を付す。
例；山田・ほか：前立腺がん・PSAP
 - (5) 英文抄録：和文の表紙、本文とは別に標題、著者名、所属機関名、主任名、5語(英文)以内の Key words、抄録本文の順にB5版ダブルスペースでタイプし、別にその和訳をつける。
 - (3) 英文原稿はダブルスペースでタイプし、原稿の表紙に標題、著者名、所属機関名、主任名、Key words(和文に準ず)、running title(和文に準ず)の順にタイプし、別に標題、著者名、所属機関名、主任名、抄録の順に記した和文抄録を付す
 - (4) 数字はすべて算用数字を使用し、単位 m, cm, mm, l, ml, kg, g, mg, μ g, %, $^{\circ}$ C などとする。
 - (5) 和文、英文原稿を問わず図、表、写真などは各々台紙に添付し、それらに対する説明文は別紙に一括して Fig. 1 ..., Fig. 2 ..., Table 3 ... などと記載する。説明文は英文が望ましい。原稿右欄外に挿入さるべき位置を明示する。写真はトリ
 3. 掲載
 - (1) 論文の掲載は採用順とする。迅速掲載には迅速掲載料を要する。
 - (2) 紙代、印刷費、製本代は編集部で負担する。残額を実費負担とし、請求は論文掲載誌発行後に行なう。論文の長さが超過した場合、超過料を別途に申し受ける。
 - (3) 薬剤の効果、測定試薬の成績、治療機具の使用などに関する研究論文については、掲載料を別途に申し受ける。
 4. 別刷：実費負担とし、著者校正時に部数を指定する。

宮崎 重	新谷 浩	
吉田 修(主幹)		
- ミングし、図・表は誤りのないことを確認のうえ、トレースして紙焼したものが望ましい(コピー不可)。様式については本誌の図・表を参照する。
- (6) 引用文献は必要最少限にとどめ、引用箇所を本文中に入れる。その数は30までが望ましい。和文は楷書で、欧文はタイプする。
(例；山田^{1,3,7)}、田中^{1,3-10)}によると)
- 雑誌の場合—著者名(全員)：題名、雑誌名
巻：最初頁～最終頁、発行年
単行本の場合—著者名(全員)：題名、書名、編集者名、版数、巻数、引用頁、発行所、出版地、発行年
- (7) 原稿を返却しないのでコピーを手元に残しオリジナルを書留で〒606 京都市左京区聖護院川原町54 京大病院泌尿器科紀要編集部宛送付する。
- (8) 投稿原稿は編集委員会においてその採否を決定し、それに従って編集部は原稿の訂正、書き直しまたは返却を指定する権限を保持する。
- (9) 校正は初校を著者による責任校正とし、再校以降は編集部が行なう。著者複数の場合校正責任者を投稿時指定する。